

## 浪江町津島地区の「津島松」(アカマツ)

阿武隈山系に自生するアカマツは、材質や触感が極めて上質です。特に浪江町津島地区に分布するアカマツは、古くから岩手県の南部松、宮崎県の日向松などとともに福島県の津島松と呼ばれ、日本を代表するアカマツのひとつとされ有名です。

浪江町津島地区では、この「津島松」のすばらしい保存林を見ることができます。

「津島松」は一般のアカマツに比べるとヤニが少なく、枝が細く早期に自然落下するため幹が真っ直ぐに成長するので加工しやすく、また材の中心部の赤味が少なく白色を呈しているため木目が際立ち、良質な製品が加工できます。

浪江町には、この「津島松」を使用した集成材やフローリング材を生産している材木店の老舗があり、県内のほか関東方面の市場に出荷しています。

家の新築や改築などで「津島松」の購入を希望される場合には、浪江製材協同組合<sup>(注1)</sup>にお問い合わせください。



フローリングに使用される津島松の原木



住宅に使用された津島松のフローリング

(注釈1) 浪江製材協同組合 (ナミエイ<sup>®</sup> ケンゴトウクミアイ)

住 所：福島県双葉郡浪江町権現堂矢沢町44-1

電話番号：0240-35-2002